

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【公表番号】特表2009-524115(P2009-524115A)  
 【公表日】平成21年6月25日(2009.6.25)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-025  
 【出願番号】特願2008-551435(P2008-551435)  
 【国際特許分類】

G 1 0 D 13/00 (2006.01)  
 G 1 0 D 13/02 (2006.01)  
 G 1 0 H 1/00 (2006.01)  
 G 1 0 H 1/32 (2006.01)

【F I】

G 1 0 D 13/00 5 1 1 A  
 G 1 0 D 13/00 5 1 1 B  
 G 1 0 D 13/00 5 1 1 C  
 G 1 0 D 13/00 5 1 2 C  
 G 1 0 D 13/02 B  
 G 1 0 D 13/00 5 2 1 G  
 G 1 0 H 1/00 A  
 G 1 0 H 1/32 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月12日(2010.1.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a . 上面および底面を有するメッシュ膜と、  
 b . ねじ付きロッドおよび前記メッシュ膜内に維持されるターンバックルを備え、前記メッシュ膜に張力をかけるためのテンションリングと、  
 c . 前記メッシュ膜の前記底面の少なくとも一部に接触するダンパであって、前記メッシュ膜の底面に位置する円形のポリエステルファイバー材料を有するダンパと、  
 d . 前記メッシュ膜を保持するための保持部材および前記メッシュ膜をアコースティック膜に実質的に固定した関係に保持するための連結部材を備える係合部材とを含む、練習用ドラムヘッドアセンブリ。

【請求項2】

前記メッシュ膜が前記メッシュ膜を固定するための環状フレームを有する練習用ドラムヘッド内に形成され、前記保持部材が前記係合部材の内側壁から内側に延びて前記練習用ドラムヘッドの環状フレームの底部を支持するフロアを備える、請求項1に記載の練習用ドラムヘッドアセンブリ。

【請求項3】

前記メッシュ膜がポリエステル材料で形成され約5～70%の開口面積を有する、請求項1に記載の練習用ドラムヘッドアセンブリ。

【請求項4】

前記メッシュ膜が前記アコースティック膜に距離を約0.5～4インチにおいて実質的に

固定された関係に保持される、請求項 1 に記載の練習用ドラムヘッドアセンブリ。

**【請求項 5】**

前記ダンパが前記メッシュ膜の前記底面に接着剤で付着される、請求項 1 に記載の練習用ドラムヘッド。

**【請求項 6】**

前記ダンパが前記メッシュ膜の前記底面の約 40 ~ 100 パーセントに接触する、請求項 1 に記載の練習用ドラムヘッド。

**【請求項 7】**

テンションリングと、膜および環状フレームを備えるドラムヘッドの組み合わせであって、前記テンションリングは、円形の平滑な形状に形成された円筒形ロッドと、前記膜に外側に向けて張力をかけるように前記テンションリングの直径を拡張するためのターンバックルを有する拡張部材を備え、前記テンションリングは前記環状フレーム内において前記膜に係合する組み合わせ。

**【請求項 8】**

前記円筒形ロッドは平滑な端部およびねじ付き端部を備える、請求項 7 記載の組み合わせ。

**【請求項 9】**

前記ターンバックルは、前記ロッドの前記ねじ付き端部を受けるためのねじ付きレセプタクルおよび前記ロッドの前記平滑な端部を受けるための平滑レセプタクルを備える、請求項 8 記載の組み合わせ。

**【請求項 10】**

前記膜は、メッシュ膜、固体膜および部分的固体膜のいずれかである請求項 7 記載の組み合わせ。

**【請求項 11】**

前記膜はメッシュ膜であり、前記組み合わせは、前記膜の前記底面の少なくとも一部に接触し、前記膜の底面に位置する円形のポリエステル材料を有するダンパをさらに備える請求項 7 記載の組み合わせ。

**【請求項 12】**

前記ダンパが前記メッシュ膜の前記底面の約 40 ~ 100 パーセントに接触する、請求項 11 に記載の組み合わせ。

**【請求項 13】**

前記膜はメッシュ膜であり、前記組み合わせは、前記メッシュ膜を保持するための保持部材および前記メッシュ膜をアコースティック膜に実質的に固定した関係に保持するための連結部材を備える係合部材とをさらに含む、請求項 7 記載の組み合わせ。

**【請求項 14】**

前記膜はメッシュ膜であり、前記メッシュ膜は、約 0.5 インチ ~ 約 4 インチの距離でアコースティック膜に実質的に固定された関係に保持される、請求項 7 記載の組み合わせ。

**【請求項 15】**

a . 円形の平滑な形状に形成された円筒形ロッドと、前記環状フレーム内においてテンションリングの直径を拡張するための拡張部材を備えるテンションリングを挿入する工程  
b . 前記テンションリングの直径を前記膜に対して拡張するために前記拡張部材を動作させる工程とを備える、膜と環状フレームを有するドラムヘッドに張力をかける方法。

**【請求項 16】**

前記拡張部材はターンバックルを備え、前記テンションリングの直径を前記膜に対して拡張するために前記拡張部材を動作させる工程は前記ターンバックルを回転する工程を含む請求項 15 記載の方法。

**【請求項 17】**

前記円筒形ロッドは平滑な端部とねじ付き端部を備えている請求項 15 記載の方法。

**【請求項 18】**

前記拡張部材は、前記ロッドの前記ねじ付き端部を受けるためのねじ付きレセプタクルおよび前記ロッドの前記平滑な端部を受けるための平滑レセプタクルを備えるターンバックルを備える請求項17記載の方法。